

種類別明細書の書き方（例：共同住宅の経営者）

控えが必要な方は、コピーしてください。

本市の申告書を使用しない場合は、本市の申告書に印字された「所有者コード」を記入してください。
※初めて申告される方は、記入する必要はありません。

資産の種類に対応する数字を記入してください。
「構築物」⇒「1」
「機械及び装置」⇒「2」
「船舶」⇒「3」
「航空機」⇒「4」
「車両及び運搬具」⇒「5」
「工具、器具及び備品」⇒「6」

資産が増加した場合は、余白の部分に資産の名称及び規格等を記入してください。
外字等は類似の文字に置き換えて登録する場合があります。

資産を実際に取得した年月を記入してください。
※年号欄には、令和の場合はR、平成の場合はH、昭和の場合はSを記入してください。

減価償却資産の耐用年数に関する省令別表第1から別表第6（別表第3及び第4を除く）に掲げる耐用年数を記入してください。（申告の手引P.15～P.22参照）
中古資産について、見積耐用年数を使用している場合は、その耐用年数を、短縮耐用年数を使用している場合は、その耐用年数を記入し、摘要欄にその旨を記入してください。

初めて申告する方など、この欄が印字されていない場合は、記入してください。

令和 7 年度																	
※ 所 有 者 コー ド ※																	
春日井 太郎																	
枚のうち																	
枚 目																	
行 番 号	資 産 の 種 類	資 産 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月			取 得 価 額 （イ）	耐 用 年 数	減 価 償 却 率 （ロ）	価 額 （ハ）※	※ 課 税 標 準 の 特 例		※ 課 税 標 準 額	増 加 事 由	摘 要	
					年 号	年	月					率	コード				十 億
01	1	14210001	コーポA アスファルト舗装	1	H	20	8	2 5 0 0 0 0 0	10	0.						1・2 3・4	
02	1	14210002	コーポA 金属製サイクルポート	1	H	20	8	1 5 0 0 0 0 0	10	0.						1・2 3・4	
03	1	14210003	コーポA 金属製看板	1	H	20	8	3 0 0 0 0 0 0	20	0.						1・2 3・4	令和6年2月 廃棄
04	1	14210004	コーポA 受変電設備	1	H	20	8	3 0 0 0 0 0 0	15	0.						1・2 3・4	
05	1	14210005	コーポA 街路灯	2 3	H	20	8	4 0 0 0 0 0 0 6 0 0 0 0 0 0	10	0.						1・2 3・4	令和6年2月 一品廃棄
06	6	64210001	コーポA ルームエアコン	4	H	20	8	8 0 0 0 0 0 0	6	0.						1・2 3・4	
07										0.						1・2 3・4	
08										0.						1・2 3・4	
09	1		コーポA 植栽	1	H	20	8	150 000	20	0.						①2 3・4	申告もれ
10	1		コーポB アスファルト舗装	1	R	6	5	1 800 000	10	0.						①2 3・4	
11	1		コーポB メッシュフェンス	1	R	6	5	500 000	10	0.						①2 3・4	
12	1		コーポB コンクリートブロック塀	1	R	6	5	400 000	15	0.						①2 3・4	
13	1		コーポB 植栽	1	R	6	5	200 000	20	0.						①2 3・4	
14	1		コーポB 受変電設備	1	R	6	5	2 500 000	15	0.						①2 3・4	
15	1		コーポB 金属製看板	1	R	6	5	1 850 000	20	0.						①2 3・4	
16	1		コーポB 屋外給排水設備	1	R	6	5	500 000	15	0.						①2 3・4	
17	6		コーポB ルームエアコン	6	R	6	5	1 200 000	6	0.						①2 3・4	
18										0.						1・2 3・4	
小 計				23				17 300 000									
				21				8 700 000									

増加資産がある場合は、増加事由を○で囲んでください。
1. 新品取得
2. 中古品取得
3. 移動による受入れ
4. その他

減少した資産は、二重線(＝)で消してください。
※資産コードは消さないでください。

明細書に印字されている内容を修正する場合は、修正する箇所を二重線(＝)で消し、欄内余白に修正後の内容を記入してください。
※訂正印は不要です。

摘要欄には、該当する資産について、次のような事項を記入してください。

- 資産を減少した場合
「年月及び理由」
（例：令和6年2月 廃棄）
- 課税標準の特例に該当する場合
「適用条項」
（例：地方税法附則第15条44項）
- 耐用年数を変更する場合
「耐用年数変更」等
- 資産を受け入れた場合
「〇〇市より移動」等
- 資産の一部が減少した場合
「年月及び減少数」
（例：令和6年2月 一品廃棄）
- 申告もれがあった場合
「申告もれ」等

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。